

人間解剖 (1974)

AUTOPSY

メディア 映画

ジャンル ドキュメンタリー

製作国 スペイン

色彩 Color

時間 80分

初公開日 1975/06/21

公開情報 東京第一

【解説】

ひたすら淡々と死体が解剖されてゆく間に、その作業を取材する記者のやらせ臭い再現風ドラマが挟まったセミ・ドキュメンタリー。公開当時のパンフレットには、解剖だけを興味本位に売り物にしたのではなく、生命の尊さを訴えた映画だと書かれているが、医学教材の記録フィルムに無理やり生命の尊厳というメッセージをねじ込んだような作りは下世話な興味を煽る残酷ドキュメンタリーとなんら変わるところがない。この頃はまだ残酷なものや下世話なものを見ることに後ろめたいものがあり、社会的なメッセージを言い訳として付け加えることで正当化しているような部分があった。死体ビデオや写真集が発売されている現在から見ると、まだ死に関するものがタブーであった時代の遺物かもしれないが、ある意味で今よりも生命の尊厳が守られていた時代の記録だということも可能である。

【クレジット】

監督 ファン・ロガール

脚本 ファン・ロガール

撮影 フェルナンド・アリバ Fernando Arribas